

# 玉井小だより

平成27年10月30日

大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

## 玉小、実りの秋

10月16日(金)には1年生が、22日(木)には2年生が、今年新しくつくった畑でサツマイモを収穫しました。シャベルで掘るのですが、サツマイモの姿がなかなか見えません。

「あんまり 水をあげなかったから、出来ていないかも・・・。」と子供たちも心配そうです。

でも、出てきました。小さくて、数も多くはありませんでしたが、何とかきれいな赤紫色のサツマイモを収穫することができました。子供たちは、小さくても大喜びです。

子供たちの笑顔を見ると、どんなに小さな芋でも、やはり「自分たちの手で植え、水をあげて育て、そして収穫する」というプロセスが大切なのかなと思います。芋そのものも大事ですが、「育ててみること」その経験こそが大切なのだと思います。

サツマイモの収穫は少なかったのですが、たくさんのみなさまのお力をお借りして拓いていた畑のおかげで、豊かな学びになりました。

玉小の実りの秋です。

幼稚園も同じ畑で収穫し、放射線は検出されませんでしたので、お知らせします。

来年はもう少したくさん収穫できるようにしたいと思います。来年も保護者のみなさま、地域のみなさまのご指導、ご支援をお願いします。



【新しく拓いた畑で初の収穫】



【サツマイモがとれました】



【2年 根本優璃さんの絵】

## お知らせ

11月7日(土)はいよいよ玉っ子学習発表会です。

午前8時25分開会、午前11時25分閉会の予定です。また11時40分からは、PTAバザーも開催されます。

会場の体育館には、子供たちの書写の作品や絵も展示されています。

ぜひご家族みなさんでお越しください。

## 大事にされる経験

学習発表会の練習やその支援のために、連日、たくさんの方々にボランティアとしておいでいただいています。さりげなく、我が子のように子供たちにかかわり、声をかけたり指導したりしていただいています。本当にありがたく思っています。

4年生の琴の演奏の支援においでいただいているお母さんは

「子供たちが、ときには先生に叱られながらも、一生けんめい練習しています。私たちも先生のお手伝いをしながら、一緒にその姿を見てきたので、学習発表会では、（私たちも）心から感動すると思います。楽しみです。」

と仰っていました。

また、あるおばあちゃんは

「学習発表会まで毎日来ます。自分が好きで来るんだから気にしないでください。先生方は本当によくやってくさる。自分もできることをお手伝いできて本当にうれしい。」  
と言ってくださいました。

5年生の田植え踊りの指導に来てくださっている本揃田植え踊り保存会の方々に、次のようなお褒めの言葉をかけていただきました。

「みんな、よく覚えたね。たくさんでやると見栄えがするね。見事だ。」

子供たちは本当にうれしそうです。

玉井幼稚園の保育研究のアドバイザーをお願いしている添田和子先生から次の言葉を教えていただきました。

「他者にとことん大事にされた経験がなければ、ひとはじぶんの存在にプライドをもつことができない。だれかに大事にされているという経験が、これほど大事にされる存在なんだから粗末にはしてはいけないという、自己感情の支えになる。」（哲学者鷲田清一）

子供たちができるようになっていく姿を自分のこととして喜んでくださる人が、子供たちの周りにたくさんいてくださることは、子どもたちにとって本当に幸せなことだと思います。

ありがとうございます。



【保護者ボランティアのみなさん】



【本揃田植え踊り保存会のみなさん】